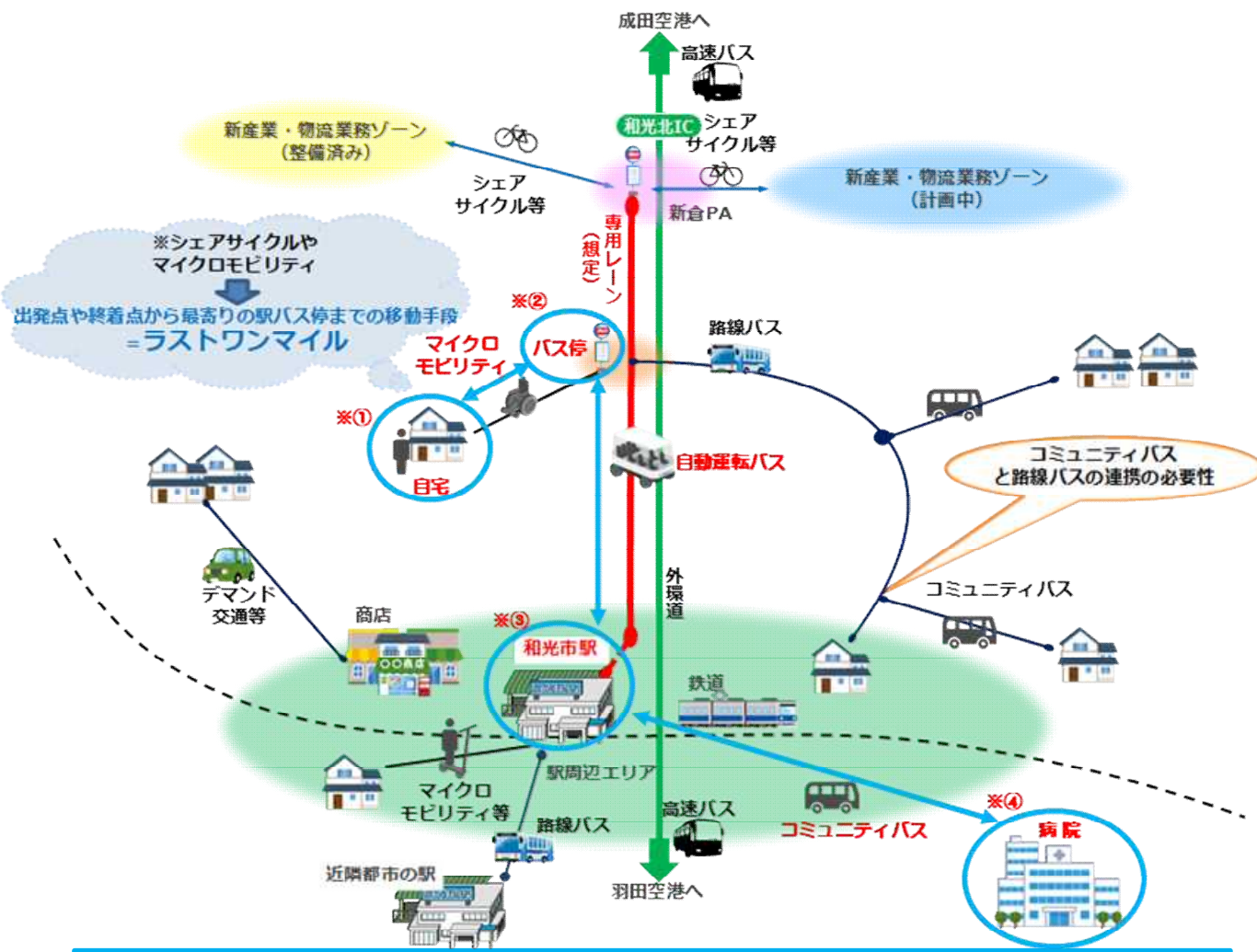


『和光版MaaS』って何？

和光市では、高齢化社会に備えて「全ての市民の移動の自由」を確保するため、先進技術の導入を進め、地域公共交通の充実を推進しています。

情報通信技術の活用により、複数の移動手段（電車やバスなど）を組み合わせ、出発地から目的地までの移動について、「検索」「予約」「決済」を一括して行うサービスの提供を進めます。



【和光版MaaSによる移動例】
 ※MaaSによる移動例
 ①住宅 ←→ ②バス停 ←→ ③和光市駅 ←→ ④病院
 マイクロモビリティ 自動運転バス コミュニティバス

自動運転による移動サービス？

移動のしやすさ向上には、公共交通の充実が必要です。しかし、将来の運転手不足が課題となっています。和光市では、来る運転手不足に備えて、

『自動運転車両（バス）による移動サービス』にも取り組んでまいります。

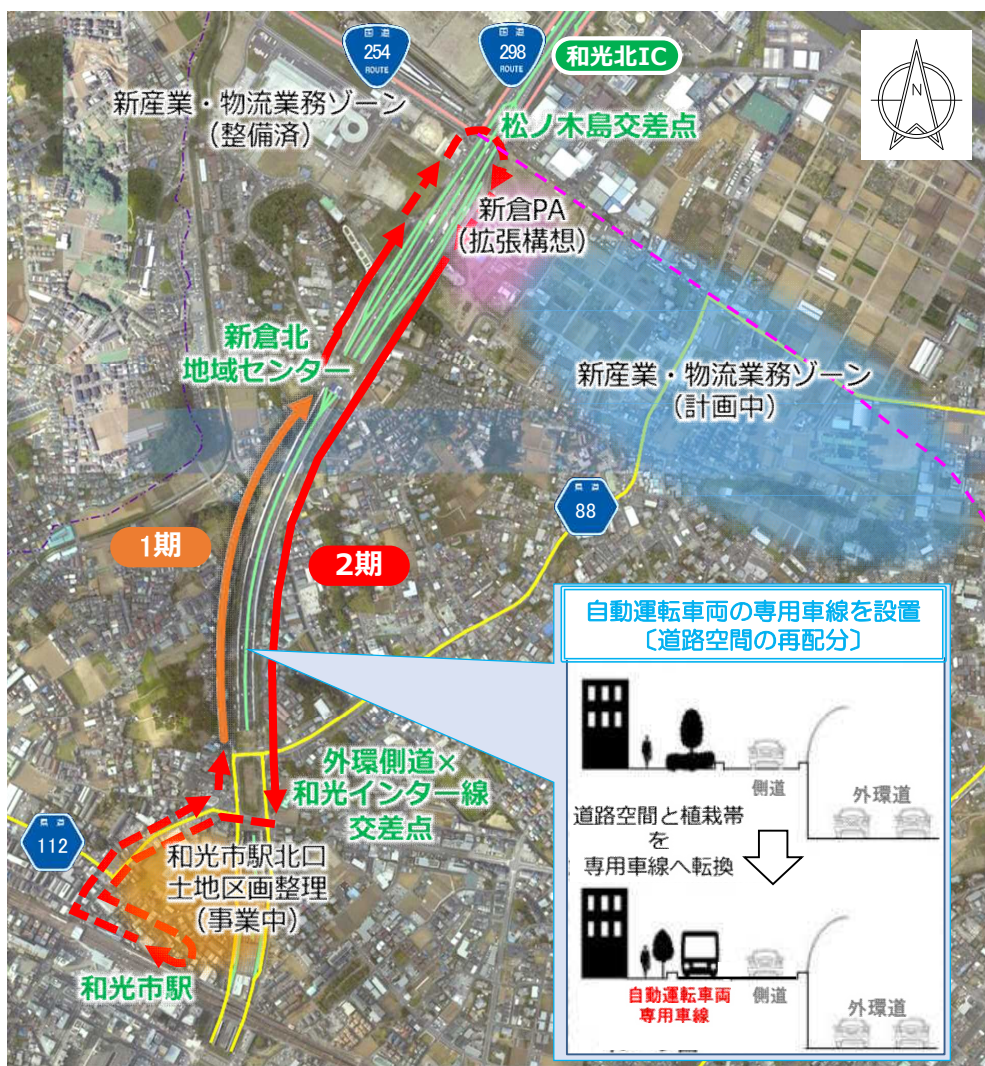
自動運転導入に向けて、国や埼玉県、本田技研工業、東武バスウエストなどの民間事業者と一緒に検討しています。



【整備・走行イメージ図】

自動運転バスってどこ走るの?

将来的には、市内各所で走行させる考えであります。
 まずは、和光市駅から市の北部の新倉PAまでの区間を循環走行する計画です。
 安全に走行するための準備（道路整備）を1期と2期に分けて行い、準備が整い次第、試験走行した後に本格運用を始める予定です。

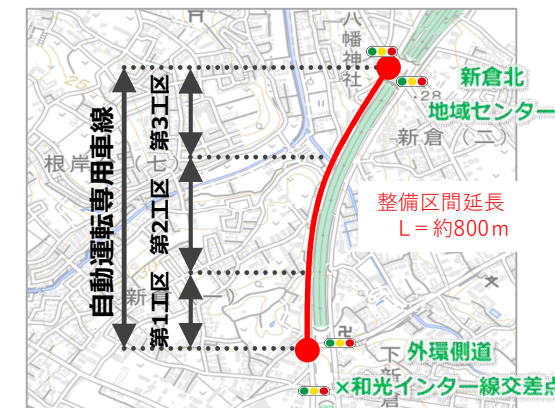


※赤点線のルートは検討中であり、変更する場合があります。

【走行ルート検討図】

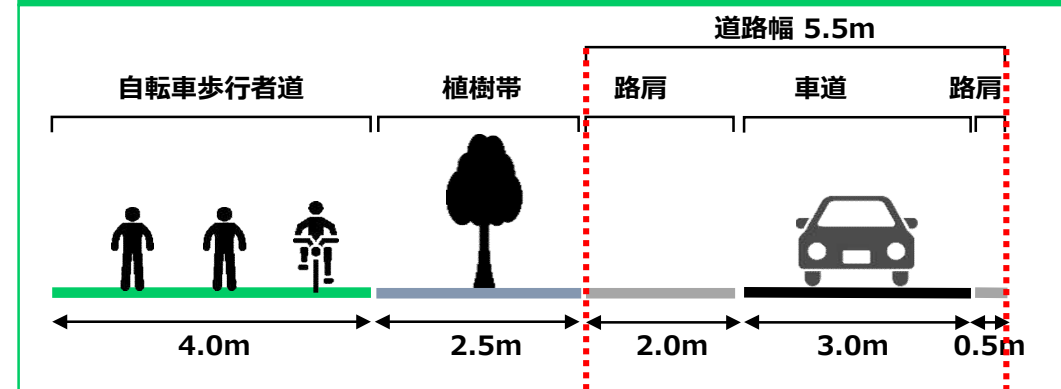
令和4年度はなにをするの?

今年度は「走行するための準備（整備）」として、約800mの区間に自動運転車両が走行する車線を整備します。
 下の図の通り、もとの車道と植樹帯の一部をつかっての新たな車線を整備します。
 高木は樹勢が弱っている状況もあり、環境性に優れた中低木に更新します。



【整備箇所図】

現在の幅員構成イメージ



将来の幅員構成イメージ

